



## 何を覚えるか、何を忘れていくのか？

附属総合情報センター センター長  
医療人育成センター 統合 IR 部門長  
医学部 神経科学講座教授

長峯 隆

脳神経内科の外来では「物忘れがひどくなった」との訴えに接することが多い。会議の予定を忘れた、頼まれた用件を放置していた、など、自分自身の実感としても年齢とともに増えていく。似たような訴えには「物覚え」に関するものがある。受験勉強を例にとるまでもなく、元号や歴代天皇などの暗記ごとを競うのは、若い頃の経験であり、「昔と比べて最近では」との訴えとなる。加齢を含めた生理的なものか、病的なものかを見極めていくのが専門外来での作業であり、似たような両者の症状を「想起障害」と「記憶力障害」に区別し、病因推測につなげていく。それぞれ対応は異なるが、いずれも、何を忘れていくのか、自分自身で制御できないのが厄介な点である。

ヒトを大学に置き換えてみると、記憶の役割を果たすのは、図書館を含めた附属総合情報センターの中心責務となる。毎年のように行っている調査による国内外の学術雑誌、図書、資料などの整備は、「物覚え」に相当する。年間を通して受け付けている図書に関しての学生さんよりの希望聴取の他に、教員よりの希望聴取も体系的に行うようになった。一方、所蔵資料の廃棄が「物忘れ」である。限られた資源の有効な活用を図るため、本学を初めとして学校図書館には所有する図書の廃棄基準があり、廃棄図書の候補をあげている。資料の受け入れ後、一定の年限を経過したもののの中で利用価値の失われた図書など、いくつかの基準を基に候補を俎上にあげている。ヒトの「物覚え」「物忘れ」と異なって、自己で取捨選択することが可能な過程であり、大学の知的財産を形成していく上での根幹の作業になる。他の大規模の図書館にはないような希少価値のある資料や、特定の目的を定め、体系に基づいた資料の集積、編纂をすることによって、特徴ある「資料構成」をすることが可能である。

他の図書館にない資料の第一は、本学の発出する資料であり、それは、公共の公文書館の趣旨と一致する。折しも、内閣府の公文書管理委員会では、公文書管理の新しいガイドライン案が承認された。公文書を作成・保存するにあたっては電子媒体とすることが基本となり、入手した紙媒体文書のスキャナー取り込みも「正本」とすることが可になり、意思決定過程の原則保存という従来の方針も踏襲されることとなっている。デジタル庁設置もあって、デジタル化に対する対策は今後進むであろうし、収納場所の物理的制限もデジタル化によって見直しが必要であろう。

「何を覚え」「何を忘れていく」かの検討は、「本学を本学たらしめている」資料構築に直結していく。

# 今春、卒業・課程修了、退職予定の皆さまへ

**図書館IDカード手続きを行ってください/受付開始は3月1日(火)からです**

今春、卒業及び課程修了、退職される皆さまにつきまして、現在お持ちの学生証、図書館IDカードではご利用ができなくなります。

令和4年度より学外勤務となり、引き続き図書館の利用をご希望される場合は、図書館2階カウンターで手続きをお願いいたします。

現在身分	現IDカード有効期限	4月以降身分	新IDカード		
			発行手続き	受け渡し	
学部学生					
医学部	3月18日(金)	4月1日まで延長可 ※1	研修医 ※2	不要	臨床研修・医師キャリア支援センター
		-	学外勤務	申請書提出(学外者用)	図書館(卒業生カード)
4月1日まで延長可 ※1		看護部勤務	不要	看護部	
		看護部以外学内勤務	4月1日以降、申請書提出	図書館カウンター(2F)	
保健医療学部	-	学外勤務	申請書提出(学外者用)	図書館(卒業生カード)	
課程修了					
専攻科生 大学院生	3月18日(金)	4月1日まで延長可 ※1	研究生	不要	講座(教室)
			大学院生		学務課
		-	学内勤務	4月1日以降、申請書提出	図書館カウンター(2F)
教職員	-	-	学内勤務で「所属、身分」が変更	4月1日以降、申請書提出	図書館カウンター(2F)
	3月31日(木)	-	学外勤務	申請書提出(学外者用)	図書館カウンター(2F) (卒業生、元教職員、学外者カード)

※1：通常開館入館延長(要自己申請)

卒業及び課程修了された方は、通常開館のみ4月1日まで延長できます。(緑色身分の方)  
なお、特別開館の入館をご希望の場合はカウンターへお申し出ください。

※2：臨床研修医

A	1年目：札幌医科大学勤務、2年目：学外病院勤務
B	1年目：学外病院勤務、2年目：札幌医科大学勤務
C	1年目&2年目：札幌医科大学勤務

- 申請書提出の際は、「印鑑」捺印の上、提出ください。
- 令和4年度以降、学内勤務となる方の「新IDカード」のお渡しは、4月1日以降となります。
- 卒業式(3月18日)以降の図書等の貸出、文献複写申込はできません。
- 学生証(IDカード)は学務課へ返却、その他の方は、図書館2階カウンターへ返却ください。
- 「学外勤務」となる方の図書館IDカード発行は、道内在住及び道内勤務者に限ります。
- 「道外勤務」となる方は、文献複写依頼申込用の「ID番号、パスワード」のみ発行可能です。但し、大学等の教育機関に勤務の場合は、所属機関を通しての依頼となるため「ID番号、パスワード」申請は不可。
- 年度更新扱いの「研究補助員、非常勤講師等の方」は、図書館2階カウンター(内線:24240,24250)にお問い合わせください。

いまこそ  
使いどき!

# 電子コンテンツ

Maruzen e-Book Library  
Medical\*Online 編

「感染症対策」が求められ、早2年が経とうとしています。これまで当センターでは、「非来館」サービスの提供を積極的に行ってきました。今回は、「電子コンテンツ」の中の電子書籍（和書）「Maruzen e-Book Library」及び「Medical\*Online」について、改めてご紹介いたします。

・学外からのアクセス：情報センターHP > Remote-access > (ログイン) \* > オンラインコンテンツ

\*ID/PassはSAINS  
アカウントと同一



・学内からのアクセス：情報センターHP > ページ最下部・各バナーからアクセス

## Maruzen e-Book Library



「内科学書」や看護・リハビリテーション分野の教科書類が充実しています。同時アクセス数は「1」です。

- 利用時のポイント
- ・「購読契約しているタイトルから検索」にチェックを入れると、検索結果が絞れます。
  - ・動画も提供しています。実習の予習復習に！

【動画】「目で見える病気 第2版(全15巻)」総監修 小田島康夫・三俣昌子(医学映像教育センター)



## Medical\*Online



医学・医療に関連した電子書籍を提供しています。同時アクセス数は「無制限(※一部例外あり)」です。「普段は購読していない雑誌だけど、特集記事だけ読みたい」ときなどに便利です。

- 利用時のポイント
- ・書籍内の全文検索やPubMed等へのリンクが可能。
  - ・収録書籍は随時増加されています！

「小児疾患診療のための病態生理3(雑誌「小児内科」増刊-改訂第5版-) 東京医学社編(東京医学社)



電子書籍を  
一度に検索したいときは、



を、ご利用ください！

Wiley PPV,  
トークン  
ご利用ください。

Wiley社発行雑誌の論文 PDF 取得可能サービス「WileyPPV(トークン)」は、ご利用いただいていますか？本サービスは、Wiley社電子ジャーナル購読誌削減に伴う激変緩和措置として時限的に導入しています。利用数には限りがありますが、費用は当センターで負担しているため、皆様は負担なく論文を閲覧でき、図書館への登録等も不要です。下記URLの注意事項をご確認のうえ、研究や学習にご活用ください。

○情報センターHP > ページ最下部バナー・PPV利用案内

URL : <https://infornavi.sapmed.ac.jp/jpn/content/document-retrieval/5388/>

## 退職、修了される方必見!! SAINS アカウント継続利用申請について

2019年10月1日より、札幌医科大学学術ネットワーク（SAINS）のアカウントについて、**退職や修了により学内者の身分を失った後も継続利用を希望する場合は、申請書と誓約書の提出が必要**となりました。

これは、2019年に発生したメールアカウントの不正使用事案を踏まえ、アカウント管理の適正化に向けた取組を強化するものです。今後継続利用が認められたアカウントは、**1年毎の更新が必要**となりますのでご了承ください（本年度申請の継続申請期間満了日は2023年7月31日を予定）。

なお、原則すべての学外者アカウントをご利用の皆様にも継続申請の提出が必要となります。

詳細については下記ホームページをご覧ください。必要があり、おおよそ以下の内容となります。

- 学内者の身分を失った方が SAINS アカウントを継続するためには継続利用申請が必要
- 継続利用申請には、「継続利用申請書」と「誓約書」が必要
- 継続利用申請は1年更新（期間満了日は翌年の7月31日。但し、申請日から翌年の7月31日まで1年未満である場合、翌々年の7月31日が期間満了日となる。）
- 2019年6月以降にパスワードを変更していない場合は、パスワード変更必須
- 利用できるのは電子メールサービスのみ。VPN やリモートアクセス（電子ジャーナル利用）等は利用不可

**継続利用申請を行わなかった場合、学内身分を失った日より2ヶ月でアカウント抹消を実施します。**  
学内身分を失う期間が短い場合でも、継続利用申請をお願いします。

※詳細については下記ホームページをご覧ください。

ホームページ

退職・修了等の後（学外者）の SAINS アカウント利用について  
<https://infonavi.sapmed.ac.jp/jpn/news/4675/>



総務・システム係 内線: 22390/22490 Email: icccj@sapmed.ac.jp

### ◆総合情報センターへのお問い合わせ先

お問い合わせ内容	内線	E-mail	照会先
図書館の利用に関すること	24240	libserv@sapmed.ac.jp	利用サービス（カウンター）
学内所属員の文献複写依頼に関すること	24170	illr@sapmed.ac.jp	利用サービス
学外からの文献複写の申し込みに関すること	24180		
図書に関すること	24160	book@sapmed.ac.jp	図書係
雑誌に関すること	24230	serial@sapmed.ac.jp	図書係
札幌医学雑誌に関すること	24160	satuisi@sapmed.ac.jp	図書係
メールアドレス、LANへの機器接続に関すること	22390	icccj@sapmed.ac.jp	総務・システム係
図書館へのご意見・ご要望に関すること	24170	libserv@sapmed.ac.jp	利用サービス

誌名「Barks（パークス）」は、本の語源でありますラテン語の「樹皮（liber）」の英訳です。